

チャリティショップの普及に向けた 情報発信・参加者育成・相互支援事業

活動地域  日本全域



課題

チャリティショップは不用品の再使用、非営利活動への寄付等を促進しているが、店数が少ない、新規設立のハードルが高い、参加者の世代的偏り等の課題がある。

目標

情報発信（知らせる）、参加を拡げる体制作り（つながる）、サポート体制の強化（ひろげる）の三つを軸に活動を展開し、チャリティショップの普及と発展を目指す。



今後の展望

チャリティショップに関心をもつ企業や自治体、大学等が少しずつ増えてきている。2023年度は、講演会・フォーラムの開催、動画の制作、CS設立・運営ガイドブックの制作等を予定している。

ひろげる助成

2年目

知識の提供・普及啓発

活動内容と成果

- チャリティショップ（CS）講演会（オンライン・オフライン）を2回開催し、33人が参加した
- 行政、企業等の6人と面談し、『CS白書』を用いてCSの価値を伝えた
- 大学2校で来年度CSに関する講義を行うこととなった
- CSの動画を2本制作し、ネット上で公開した
- オンライン交流会を2回開催し、開設検討中や開設間もない延べ30人/団体にに対しサポート活動を行った
- CS設立・運営の手引書について構成を確定し、ドラフトを途中まで作成した



寄付品の流れをテーマにした
動画の1シーン

動画視聴数

364回

設立・運営サポート
対象者数

30人/団体

今年度計画の達成度

75%

全体計画の達成度

65%

苦勞した点と工夫した点

■苦勞した点

新型コロナウイルス禍であり、費用対効果を高めるために、様々な活動をオンラインで活動を行う際に苦勞した。

■工夫した点

動画制作費を抑えつつ、多くのCSのボランティアにご登壇いただくために、写真等を事前に募集したりした。

〒461-0002

愛知県名古屋市中東区代官町39-18
日本陶磁器センタービル5階

E-mail: jimu@charityshop.jp

HP: <http://charityshop.jp/>

